

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和4年11月24日(木) 午後2時30分～午後4時
- 2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 村上 恵宏君
 3番 沼田 芳美君 4番 遠山 泰範君
 5番 辻 恵君
- 4 参 与 教育部長 岸 弘美 次長兼教育総務課長 相澤 和夫
 教育指導課長 関野 耕一 幼児教育課長 山下 匡弘
 生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 松岡 翔太
- 6 会議の経過

高橋教育長：ただ今から伊東市教育委員会11月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

高橋教育長：それでは議事に入る。始めに教育長報告を行う。11月教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

- 10月26日 市指定研究発表会(池幼稚園)
- 27日 タウンミーティング(吉田)
- 28日 分譲地自治会要望、青少年問題協議会幹事会及び青少年補導センター運営協議会合同会議
- 29日 伊豆高原コーラス定期演奏会(崔如琢美術館)
- 30日 マウンテンバイク国際選手権大会、
伊東ビックバンドJAZZフェスティバル
- 31日 人事管理訪問(宇佐美小、宇佐美中)

- 11月 1日 市内一斉あいさつ運動（伊東駅）
- 2日 タウンミーティング（池）
- 4日 園長・校長会人事管理訪問（西小、門野中）
- 5日 オペラドラマチックコンサート2022、
MOA伊東市児童作品展
- 7日 人事管理訪問（大池小、北中）
- 8日 校長会、絵本の寄贈（家亀氏）
- 9日 幼稚園PTA連絡会教育講演会、統合地域協議会
- 10日 文化財保護審議会、市消防総合訓練（池小、東小会場）
- 11日 タウンミーティング（八幡野）
- 14日 社会福祉協議会より寄附
- 16日 県教育委員会指定研究発表会（東小）、
教職員組合支部長来庁
- 17日 教頭会、タウンミーティング（富戸）
- 18日 東部社会教育関係者等研修会、
認定こども園設立ワーキンググループ
- 19日 西小学校スクールバス乗車試験運行
- 22日 市町教育長会、伊東高校城ヶ崎分校美術部表彰
- 23日 ラテン音楽鑑賞会
- 24日 教育委員会定例会、タウンミーティング（荻）

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：先ほど教育長室でも話題になったが、21日に吉田幼稚園でデリバリー

給食を見せていただき、ありがとうございました。お弁当自体は立派なお弁当で、おかずもたくさんあった。立派なお弁当だけあって、4、5歳児でも残す子はいると聞いていたが、40分程見る中で、殆ど子が完食していたようだ。ただ、量はちょっと多いように感じた。3歳児については、完食している子もいたが、半分ぐらいは残していた。3歳児と4、5歳児が同じ量でいいのか、難しいと思った。自分たち教育委員はその1回しか見ていないが、幼稚園の先生や保護者の意見を聞いていただけたらと思いました。

委員：私も同じように感じたが、実際に見学させていただくと、子どもたちの様子がすごくわかり、よかったと感じた。子どもたちの喜ぶ声、美味しいという感想を聞くことができた。いつもよりも完食する子が多いとも聞いた。やはり5歳児では完食した子が多かったが、3歳児は残す子があり、同じ量はどうかと思った。全体的にはデリバリー給食に慣れてきているように感じた。先生方もきめ細やかに補助をしていたので、子どもたちが落ち着いて食べることができているのだと思った。3歳児のところで、デリバリー給食になってから箸ではご飯が食べにくい子が出てきたとのことで、フォークを持ってきている子がいた。私はそれが成長に逆行しているのではないかと思った。せっかくお箸で食べられるようになったのに、フォークに戻ってしまうことは逆行だと思う。幼稚園では週2回で、あとは家庭なので、家庭での指導が主になると思うが、そのようなことも思った。しかし、給食に向かっていく前段階としては、とても良いと思います。

委員：私もデリバリー給食の見学会に参加させていただいた。感想ですが、やはり3歳児には量がかなり多かったと思った。野菜も少なかった。お話も聞かせてもらい、トマトが好きという子もいれば、嫌いという子もいた。きゅうりが入っていたが、そのまま残している子もいたので、野菜がとれるおかずがあ

ればいいかなと思いました。こうやってみんなで同じものを食べる機会があると、小学校に入学した後、給食への移行も、すんなり行くのかなと感じた。おかずに春巻きが1本入っていたが、冷めているので、プラスチック箸が滑ってしまい、刺さないと食べ辛い。子どもは食べ辛いと、面倒くさくなって、食べなくなってしまう。そこで手間かもしれないが、3つぐらいにカットされていたら、食べやすかったのかと思う。実際に見せていただき、把握することができて良かった。ありがとうございました。

委員：春巻きのことは先生も言っていた。お弁当に入れるとしたら切りますよねって。

委員：ちょっと気になっていたのだと思います。

高橋教育長：ありがとうございます。子どもの視点に立った意見だと思う。また、参考にさせていただきたい。

委員：保護者の方から色々とヒアリングをする中で、今皆さんがおっしゃった食べ物の大きさについての意見もありました。そのとおりなのかなとお聞きしながら思った。もう一点、給食は市の負担でやっていただいているが、これが実際に始まった時、金額面で頑張っていただいていることは承知の上で、家庭の負担というのは、心配があると思いました。全額ではないにしても、補助で折半等の形で、家庭の負担が少しでも軽減されればありがたい、との意見があった。その点もこれから長期に継続していく場合、大きな部分だと思うので、検討いただければと思う。

高橋教育長：ご意見はしっかりと今後に活かしたい。幼児教育課長から何かあるか。

山下幼児教育課長：今、ご意見いただいたおかずの多さや、春巻きのカットについては、価格も含め、少なくしつつ、値段も落とせないかということで、業

者と打ち合わせをしている。そして、野菜については、これも業者との打ち合わせの中で、もう少し入れる方向で打ち合わせをしている。食材のカットについても、業者が慣れてきたので、できつつあるということだ。例えばブドウを食べやすい大きさにしていただいていることなどがある。

高橋教育長：他に報告はあるか。

（報告なし）

高橋教育長：それでは、議題に入る。始めに、報告事項、教報第12号「令和4年度実施伊東市教育機関職員採用試験の結果について」を議題とする。

（相澤次長兼教育総務課長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：今年も多く応募があり、その中から4人も取ることができてよかったと思う。新しい先生方が、途中で挫折しないよう、夢と希望を持って仕事に向かえるよう、フォローをしていただきたい。

高橋教育長：その他、なにか意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：次に、教報第13号「令和4年度冬季休業期間中における児童生徒の指導上の留意事項について」を議題とする。

（関野教育指導課長から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：最近、夜10時以降に、若い男の子女の子が騒いでいるのを見かける。多分中学生だと思う。歩いてどこへ行くのか、家に帰るのかは分からない。中学校はいつも12月に三者面談をして、冬休みの過ごし方を用紙で渡されるが、じっくりと読む保護者は少ないと思う。独自に取り組む学校もあると聞くが、三者面談の時に伝えられる仕組みがあればいいと思う。先生と親と本人がいる

わけだから、過ごし方の注意、危険なことの啓発の機会があればと思う。吉田の方でもフラフラしている若い子がいると聞く。そういった子どもがいるので、大ごとにならないければいいなと思う。

関野教育指導課長：学校が冬休みの過ごし方について、細かな説明がないというのは、委員ご指摘のとおりかと思う。また機を狙って、リーフレットを作るなり、冬の重点はこうだと付け加えるだけでも違うかと思う。全部の説明は厳しいところだが、検討させていただく。それから、夜の徘徊については、それだけで注意するというのは、なかなか難しい部分もある。色々な事情があったりするが、学校に連絡していただければ、指導ができる。また定例会でも結構なので、教えていただければと思う。

委員：もう少し続くようであれば、学校にも連絡しようと思っていたが、今日定例会があったので、話をさせていただいた。

関野教育指導課長：補導をまた年末に行いますので、そちらにも情報提供をさせていただきたい。

高橋教育長：この騒いでいる場所はどこになるのか。

委員：セブンイレブンを中心にいる。丁度私がその時間歩いたりしているが、通り過ぎるときには、ピタッと話をやめてしまう。毎回同じ子かというところでもない。近所の子なら顔も分かるが、あまり顔も分からない。もしかしたら他の地区の子かもしれないが、最近よく見るようになった。

高橋教育長：わかりました。ありがとうございます。また、青少年問題協議会もあるので、そこで議題にしていきたい。

高橋教育長：その他、なにか意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、教報第14号「令和4年度冬季休業期間中における教職員

の服務及び学校施設等の管理について」を議題とする。

(関野教育指導課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、教報第15号「令和4年度冬季休業期間中における教職員の服務及び幼稚園施設等の管理について」を議題とする。

(山下幼児教育課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：夏休みの時にも話したかもしれないが、幼稚園と小中学校の成長の差から、指導の内容で追いつかないところがあった。それがそれぞれに分かれて、具体的になったことは、良かったと思う。小中学校が児童生徒に対する指導上の留意点であるのに対して、幼稚園は保護者への留意点になるかと思うが、その辺については、小中学校の指導上の留意点を参考にしているのか。職員に対するものしか出ていなかったもので、園児や保護者に対しては、どうなのかと思った。

山下幼児教育課長：こちらは幼稚園教職員に対するもので、保護者や園児については、この中で扱っていません。ただ、家庭向けに休みの前の約束事をプリント等で配布していると思うので、その内容については、小中学校の児童生徒用を参考にしながら、現状を踏まえた内容として発出するよう指導して参ります。

高橋教育長：その他、なにか意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：以上で報告事項を終了する。次に、「各課報告について」を議題とする。

相澤次長兼教育総務課長：第４回３校統合地域協議会について報告する。

（**相澤次長兼教育総務課長**から資料に沿って説明）

高橋教育長：教育総務課の内容が多かったことから、ここで一度切る。ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：スクールバスについて、先日も岩手県で、７２歳の運転手さんが確認をせずに降りてしまい、１年生が取り残された。その１年生は、クラクションを鳴らすのだよと家庭で教わっていたので、鳴らしたところ、運転手に気付いてもらえたというニュースが流れていた。やはり確認はすごく大切で、伊東市でもバスの乗車体験が始まり、練習をしているようだが、ぜひ事故のないようにしていただきたい。お金をかけて補助の人をつけ、事故のないように皆で確認しあえる体制を整えていただきたい。

相澤次長兼教育総務課長：委員ご指摘のように、悲惨な事故もございます。１９日に西小で体験乗車、２６日は旭小で体験乗車を開く予定です。その２回については、東海バスにお願いをし、体験乗車を行うが、会社も十分状況が分かっている。委託に応募する会社も含め、見守り要員も付ける予定ですので、必ずダブルチェックという形ができれば、一番良いと思っている。事故対策が一番懸念されることかと思うので、十分に踏まえて対応していきたい。

委員：事前の調査、お疲れ様でした。これのお陰で色々なことが分かってよかったなと思いました。当初よりも競輪場ルートが５０人以上多くなったということだが、これは路線バスを利用する方がもっと多いという予想だったのか、それとも違うルートの方がこちらに移ってしまったのか。

相澤次長兼教育総務課長：これは１度、簡易的なアンケートを実施した中で、大体８０人くらいと結果が出た。保護者が自分で送る方、バスを乗り継いでくる方もいらっしやった。実際に日が経ってくる中で、この直通ルートのスクー

ルバスを希望した方が増えたのだと思っている。

委員：ありがとうございます。かなり大きな差だったので、気になりました。逆に、具体的に決まったことで、スクールバスを利用しようという思いになった方も増えたのではないかと。皆さんから信頼感が出てきたということもあるのかなと思う。もう一ついいですか。振り分けが必要になるとあり、確かにこれだけの人数を一气運ぶとはいかないと思うが、この振り分けのイメージが湧きにくい、これは希望制なのか、それとも何か事情や条件があるのか。

相澤次長兼教育総務課長：学年でうまく分けられないかと考えている。6年生と5年生は基本的に分け、低学年の子のリーダーとして乗車して欲しい。それも一つの社会教育になるのかと考えている。それに加えて兄弟関係をどうするかの手合わせを行っていく。

委員：新聞に西小学校の乗車体験の記事が出ていたが、実際はどのような様子だったのか。

相澤次長兼教育総務課長：この日、私が乗ったのは競輪場ルート、西小学校の通学体験だが、家の場所によっては旭小学区はこのルートを使う子もあり、競輪場からは誰も乗らなかったが、途中の三島信用金庫南伊東支店と旧包括支援センターから計10名程度が乗車した。保護者の方が乗り場までいてくれて、その後子どもたちが乗ったあとは、静かにしていたと思う。伊東駅ルートと西小ルートも混乱はなく、緊張していた子はいたと思うが、落ち着いて乗っていたと聞いている。

高橋教育長：自分は西小で見ていたが、PTAの方が腕章をつけて、乗る前にチェックをし、乗ったかどうかチェックをして、そして忘れ物を取りに行っているかという子をチェックしてなど、PTAの方が非常に丁寧にやっていた。子どもたちに感想を聞いたところ、毎日遠足みたいで嬉しいと話し

ていた。ただ、不安な子もやはりいると思う。そういった子に対してのケアが必要かなと思うので、しっかりとやっていきたい。それから、バスの運転手が、子ども全員を降ろした後、一番後ろに行って確認をしていた。やはり業務で定着しているのだと思うので、バス会社の専門力は大きいと感じさせてもらった。

委員：バスの見守り要員の話が出ていたが、子どもたちが集まる、バスを待つ場所では、誰か大人がつく予定はあるのか。

相澤次長兼教育総務課長：各乗車場所については、必ず大人がつくような形で考えている。委託契約などで人を配置し、人数が1人になるのか、2人になるとか、またPTAの方や地域の方に少しフォローをお願いするのか等、色々と考えていくことになるが、いずれにせよ必ず大人がいて、安全に乗車をさせることを考えている。

委員：待っていた子が完全に乗るまでいてくださるということですね。ありがとうございます。

相澤次長兼教育総務課長：それと、もし1便目に乗り遅れる方がいた場合は、大人がいて、2便目まで付き添って乗せるという形も考えている。2便目が発車した後もしばらく残ってもらい、乗り遅れの子がいた場合、送ることはできないが、学校や保護者に連絡をするということも担ってもらう形を考えている。

高橋教育長：その他、なにか意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：では引き続き、教育指導課からお願いしたい。

関野教育指導課長：生徒指導について報告する。10月の状況について、まず問題行動は、例年、報告数が9月に比べて増える傾向があるが、今年は小学校で9月と変わらない報告数、中学校は若干少ない報告数だった。内容的には、小学校で生徒間暴力、中学校ではネットトラブルの報告がなされている。小学

校では、ちょっとしたことで自分の気持ちが抑えられないというケースが報告されている。怒りを収めることや、相手を受け入れて人間関係を良くすることをトレーニングするよう学校に指導している。具体的に申し上げますと、養護教諭にこの方法を周知し、またスクールカウンセラーなどの専門的な立場の方にも対応してもらっている。中学校のネットトラブルについては、ラインでの悪口やツイッターでの書き込み等がある状況で、携帯電話会社などの専門的な機関に問い合わせや相談をすることを考えていきたい。また、それ以外に自転車の事故が何件か報告されている。救急車で緊急搬送されるケースもありましたので、今後、注意喚起をしていきたい。続いて、いじめについては、いじめ防止対策基本法に基づき、色々な事を進めているが、その中で、いじめ被害者に寄り添い、いじめを解決していくことが定められている。初期対応は、状況を確実に把握し、その事実を両家庭の保護者に伝えるということを出発点に、その後の具体的な解決策を、ケースバイケースで説明し、理解を求めながら進めている。また、途中の経過報告や、一旦終わったと判断した後の再発がないかの報告も欠かさないように指導している。最後に不登校について、小中共に10月現在で昨年度を上回る人数となっている。多種多様な子どもの事情があり、中々対応が難しいが、この年末という時期を活かし、来ている子については継続し、来られていない子は気持ちを切り替えて、というようなことで指導する。また、教職員と家庭との連絡についても、重点を置いて進めている。

山下幼児教育課長：伊東小学校放課後児童クラブの準備進捗状況について報告する。

（山下幼児教育課長から資料に沿って説明）

杉山生涯学習課長：文化財報告と伊東オレンジビーチマラソン申し込み状況について報告する。

(杉山生涯学習課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

高橋教育長：色々な行事が少しずつ回ってきて、ウィズコロナの時代だなと思いつつ、学校では学校閉鎖という問題がある。社会はどんどんと進んでいるが、学校はクラスで2人陽性者が出ると、学級閉鎖をしなければならない。社会は動いているが、学校は止めなければならないというのは、なんというか難しい問題に感じる。インフルエンザと同じルールに変われば違うと思うが、文科省の方針が変わらない限りは、やらざるを得ないということは、承知していただきたい。

高橋教育長：その他全般的に、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：今後の日程について確認する。

事務局：12月の定例会については変則的な内容となる。12月21日(水)午前11時から市長の懇談、午前11時50分から給食センター視察、午後1時30分から定例会を予定している。1月の定例会については、1月25日(水)を予定とする。

高橋教育長：以上で伊東市教育委員会11月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委 員 村上 恵宏

書 記 松岡 翔太